

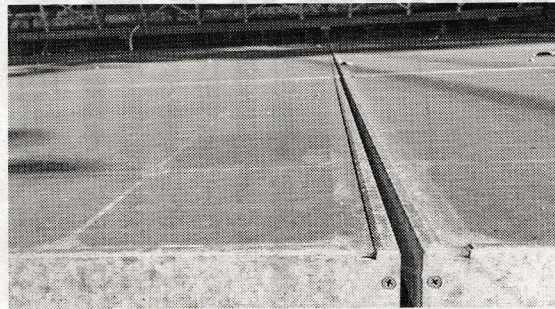
施工の現場から 産業用太陽光発電O&M

エナジービジョン

代表取締役
奥山 恭之

第3回

モジュールの尋常ではない汚れ



モジュールの汚れは発電能力の低下を招く

太陽光

先日、現地調査した発電所は、驚くほどモジュールが汚れていた。状況としては……

- ・2014年5月に設置
- ・システム容量40結
- ・雑木林の中で日当たりは、かなり悪い(13時には近隣の樹木で影がかかる。別荘地の一角で、もともと別荘が建っていたが、それを壊して発電所にした)
- ・遠隔監視システムなし
- ・1年過ぎたあたりから、

発電量が減っている気がする、という発電所だ。たった1年4ヶ月で、ここまで汚れるか? というほどで、太陽光発電の施工経験10年以上の職人も「こんな汚れ方見たこと無い」というほど。特に汚れているのが、コナラ(と思われる)の木の下で、昼過ぎには影がかかってしまうような場所。日影の影響による黒カビという説が濃厚だが、日射が良い場所に設

置するはずの太陽光発電なので、珍しい事例と言えるだろう。

通常、新エネルギーサーポーター(※)では、「モジュール洗浄が必要な発電所はそう多くない」と考えている。しかし今回の発電所の汚れはあまりにもひどく、大幅に発電量が落ちてきている可能性もあり、洗浄した方が良くかもしれない。

幸いこの汚れは、水をつけて少し強めにこすつたところ、思ったよりも汚れ落ちが良かったため

雨天時に洗浄ブラシを持ち込んでこする程度でも対処できそうだった。ただし、この発電所は遠隔監視システムも付いていないため、実際の発電量の把握が難しく、まずはその提案から、ということになった。

※新エネルギーサーポーター…全国各地の優良な太陽光発電施工店との協力関係により実現した、エナジービジョンが提供するローコストで信頼性の高いO&Mサービス。